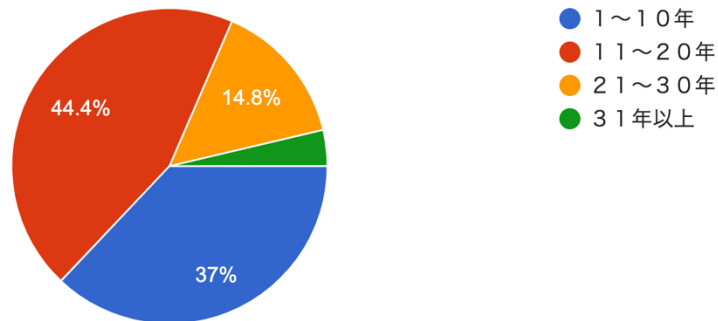


京都大学技術職員研修（体感型安全教育）アンケート集計結果

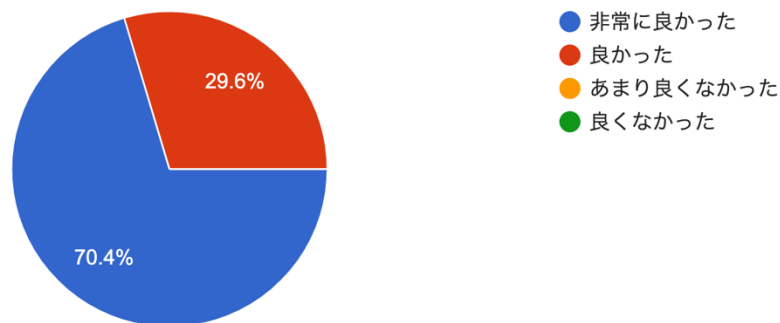
1、在職年数

27件の回答



2、今回の研修全体について

27件の回答



3、全体の感想をお書きください

- ・ 様々な身近に潜む危険を体験することができ、日常に潜む危険をイメージすることが出来ました。また、他の受講者の人達が普段どういう作業をされているかも知ることができ、交流の場として有意義なものにする事が出来ました。
- ・ 半日でまとめる為か、やや駆け足気味の印象を受けた。もう少し時間をとって質疑応答の時間を設けてもらえれば、ありがたかった。
- ・ 普段当たり前前にしていた事が、意外と危険行為であった事実を気づかせてもらいました。とても有意義な時間でした。
- ・ 研修の内容自体はどれも良いと感じ、特に脚立作業においては業務で頻繁に行う為、非常に参考となった。ただ、解説の方の声が少し聞き取りにくい場合があったのでそこが少し残念だった。
- ・ 危険作業を実際に体験できて非常に勉強になった。講師の方々も話しやすく、気軽に質問ができたため、危険作業時の疑問点を解消することができた。もし機会があれば、より多くの項目の講習を受講したいと思った。
- ・ 最寄り駅のダイヤが悪く、開始と終了後の待ち時間が多かった。この点以外は大変ためになる研修であった。
- ・ 電気など見えない危険や、その他通常作業で想定している危険が、実際体感するとどのようなものか分かった。脚立作業など、危険や不安を感じて普段行わない行動が、なぜ危険であるか説明を受け体感し

理解が深まった。自分の経験上も、危険を感じていないときにケガや事故は起きると思うので、危険の発見・認識について新たな情報を得られたことはたいへん有意義であった。全ての作業についてこのような講習で取り上げることはできないと思うので、今回教えてもらったこと以外でも、危険を発見して適切な対策を取れるよう注意したい。

- ・ 研修内容は専門的なことだけでなく、日常で起こりえることも取り上げられており、また講師の先生の説明も解りやすく、大変有意義な研修でした。ありがとうございました。
- ・ 感電体験や漏電実験、落下物の衝撃体験など、普段の業務で遭遇する可能性のある危険について、その重大性を五感で感じることができ、非常に貴重な機会となった。もう少し詳しく説明を受けたい内容や、説明だけの内容、全員が体験できなかった内容もあったので、研修の時間を長く設定しても良かったのではないかと感じた。
- ・ 実習講師の方々の説明が非常に丁寧で分かり易く、実習内容も具体的で危険性への理解が深まりました。講師の方が使命感を持って講義されているのが伝わってきて、作業の安全性がいかに重要か身をもって感じられました。
- ・ 色々な体験ができて良かった。特に日常の業務の中で行っていた作業の中に今回の安全教育の物があったので、気付かずにヒヤリハットの作業を行っていたことが分かり、今後は気を付けて作業を行っていくつもりである。
- ・ 高所作業での注意点や、適切な保護具の使用など、業務上で確認すべき点がよく分かった。大学の研究室レベルと工場レベルでは、扱う薬品量のスケールが異なり、違和感があったが、今後の業務に役立つ知見が得られ、有意義な研修だった。全体的に少し早足だったと感じた。各テーマの時間をもう少し長くして、グループ分けを細かくしても良かったかと思う。
- ・ 日立化成テクノサービス株式会社様の安全意識の高さが伺い知れた。敷地内に入る前に門衛所ですぐにポケットハンド禁止の案内がなされ、研修最初には安全祈願と服装点検からである。そこまでの意識を持っていないことを恥とさえ思えた。研修に関して講師の方に丁寧に分かり易く説明していただき、非常に面白く、日々の業務にも取り入れ、改善したい項目がいくつもあった。
- ・ 今後の業務に役立てる事ができる内容も多く、有意義であった。一方で、設備と時間の関係上やむを得ないが、体験する人数が限定され、体験内容がやや小規模とを感じるものもあった。
- ・ 日程がタイトだったので、受講前はかなり不安でしたが受講してみると想像以上にためになる研修であり、あっという間に終了した感じでした。日ごろ何気なく作業していたことが実は大変に危険なことであったことなどが分かりました。あっという間に終了の時間でした。受講時間は半日ではなく、1日でもいいのかなという気がしました。（受講時間より移動時間のほうが長かったので）
- ・ 自分では気づいていなかった危険な作業を把握できて、有意義であった。知識としては知っていたが、実際に体験する事で理解が深まった。業務に関係する分野の安全教育を受講したが、他の分野も体験出来たらさらに良かったと感じた。



電気危険体験 通電前



通電後（思わず手を離し叫ぶ）

- ・ 実務的なものから普段経験出来ないものまでたくさん経験出来て良かった様々な作業時の危険について、実際に体験しながら学ぶことができとてもよかった。特に高所飛来のデモンストレーションは興味深かった。ヘルメットは装着のみでなく、その性能にも気をつけねばならないことを知った。
- ・ 理論的には危険とわかっている事象でも、理論で理解しているだけで体感的になぜ危険なのかが今回の研修で体験できたことがよかったです。体感講習の幅も広く、身近におこりうる事象を取り扱った内容が多かったので飽きることなく、興味深い内容のものばかりで非常に良かったと思いました。
- ・ この研修に参加するまで普通に行っていた事が、かなり危険な作業であったのだと理解できた。特に、脚立は観測業務でも頻繁に使用するため、この研修で正しい使用方法を学べた事は、今後行っていく作業を安全に実施することにつながっていくと考える。また、ヘルメットなどの保護具の仕様の違いによって、防げる危険の度合いが違うことをこの目で見て体感できた事で、今後学生などを同伴して観測業務を行う場合に、想定される危険に添った保護具の選定に役立つと考える。最後に、今回訪れた日立化成テクノサービスの研修所内は、研修で使用される機材や工具が綺麗に整理整頓されていた。その点も今後見習っていきたい。
- ・ 職場で発生する可能性がある危険を実際に体験する研修は大変有意義であった。
- ・ 日頃意識せずに行っている作業に実は危険が潜んでいることがよくわかった。人員など制限があるが、今一度自らの作業を見直して事故のないように努めたい。
- ・ 安全が確保された状態で様々な危険を体験でき、非常に興味深かった。濡れた手で感電しやすいことや高所からの落下の危険性については、理屈の上では勿論、理解していたのだが、実際に体験によるインパクトは強烈なもので、安全に対する意識が非常に高まった。また、日立化成テクノサービス(株)の講師の方々には話が面白く、それでいて、実務に裏打ちされているため、非常に為になる話をしてくださったので、二重の意味で楽しめた。
- ・ 今回の安全教育研修を受講することが出来て大変よかった。安全教育は体験型にするべきだと思う。講義形式の安全教育は「危険なので注意しましょう」など話を聞いた直後は、ある程度意識するが、忙しくなると、「まあ事故なんて起こらないだろう」と、疎かにしてしまうことが多い。今回の体験研修は、事故が起きたらどうなるのか、機器類を適当に扱うとどのようなことが起こるのか、実際目のあたりにして、こんな簡単なことで事故が起きてしまうのかと身に染みて感じる事が出来た。また業務中も、これまで気づいていなかった危険なポイントを、改めて発見することが出来た。それでも数年したら、疎かになる可能性があるため、このような研修は定期的を受講したいと感じた。
- ・ 日常業務で、安全との認識で当たっていた業務が、実はとても危険だったことに気づかされた。慣れというもの怖いものだとつくづく感じた。人間は安全対策について、どこか面倒になる節があるようで、特に安全のための一工夫を怠りがちになり結果それが命取りになることもある。安全帯をつけながらも、それを対象物に括らず重大な事故に陥りなどの事例は、考えさせられた。今後は安全対策の手間を面倒くさげらず、周囲への安全喚起も行いながらゼロ災害で業務にあたろうと思う。
- ・ この研修に参加するまで普通に行っていた事が、



高所危険体験 フルハーネスでのぶら下がり

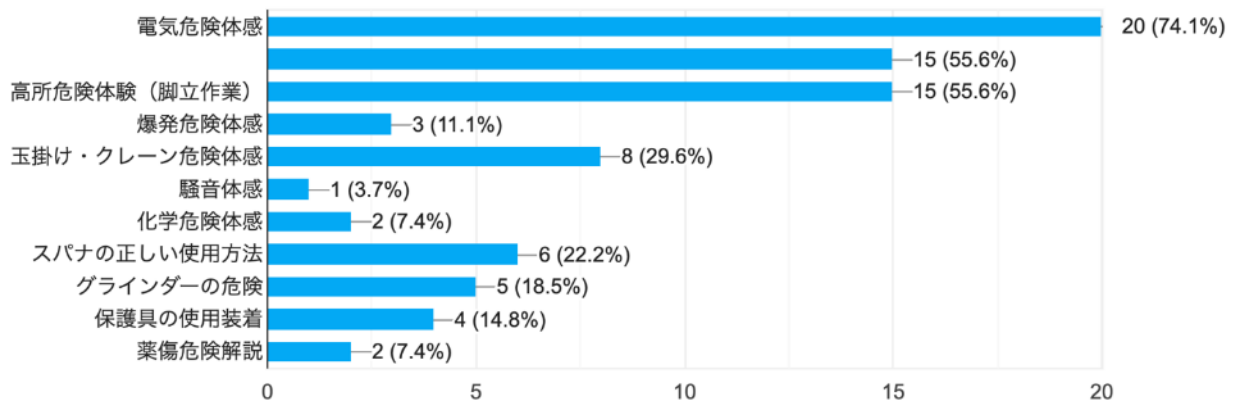


高所危険体験 腰ベルトでのぶら下がり

かなり危険な作業であったのだと理解できた。特に、脚立は観測業務でも頻繁に使用するため、この研修で正しい使用方法を学べた事は、今後行っていく作業を安全に実施することにつながっていくと考える。また、ヘルメットなどの保護具の仕様の違いによって、防げる危険の度合いが違うことをこの目で見て体感できた事で、今後学生などを同伴して観測業務を行う場合に、想定される危険に添った保護具の選定に役立つと考える。最後に、今回訪れた日立化成テクノサービスの研修所内は、研修で使用される機材や工具が綺麗に整理整頓されていた。その点も今後見習っていきたい。

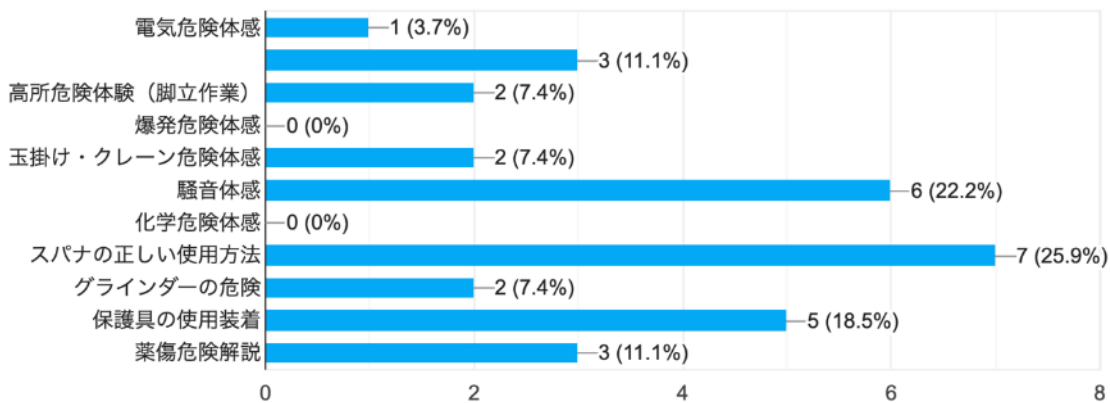
4、特に良かった項目を3つまでお選びください

27件の回答



5、あまり良くなかった項目があれば3つ以下でお選びください

27件の回答



****良くなかった項目は無かった、とのコメントが複数あり。仕方なしに騒音にチェックをいれたとのコメントも複数あり。選択肢として「良くない項目はなし」を用意すべきでした。上記の結果はあくまで参考としてください。****

6、体験した項目についてコメントがあればご記入ください

- ・ 脚立の使い方について、普段使っているにも関わらず知らない事が多く、とてもためになりました。
- ・ 脚立作業の危険については、日常の業務に直結するので為になった。電気危険体感や薬傷危険解説も、知っていることが今後の作業の安全に繋がると思った。
- ・ ポケットハンドの危険体験が良かったです。
- ・ 玉掛け・クレーン危険体験など、講師が説明していただいているのを見ているだけではなく、もう少し自分でも体験できるようになれば良いと感じた。
- ・ 感電や人や物が落ちてくる擬似体験は非常に印象に残った。
- ・ 安全帯（墜落制止用器具・腰ベルトタイプ）の装着位置による体への負荷の違いを体感したが、自分でもで

きることだが試したことはなかった。職場の他の人にも連絡し改めて正しい装着位置を確認するようになりたい。職場で脚立作業を行うことが多く、天板を跨いで作業は危険だとの認識はあったが、その理由をステップに向かって左右の方向には脚立が倒れやすく天板を跨ぐとその方向に力がかかりがちだと聞き、納得した。

- ・ 普段することのない保護具の装着は良い経験になりました。今までの脚立の使い方が間違っていたことがわかったので、今後は気を付けたいと思います。
- ・ 業務上、冬の時期は脚立を使用する頻度が高く、危険を意識せず何気なくしていたこと（天板に腰掛ける、三点支持をせずに身を脚立から乗り出して作業するなど）が実はバランスを崩しやすく、転倒する危険があるということをもっと体験して認識しました。今までは怪我することはありませんでしたが、今回の脚立作業体験を受講して、今まではたまたま怪我をすることがなかったただけだったのだということに気づかされました。身の安全を守るのは自分だという意識を忘れることなく、今後の作業に活かしていきます。
- ・ 高所危険体感の安全帯による吊り上げ体験では、従来の安全帯がどれだけ腹部を圧迫するかを体験でき、フルハーネス型の重要性を逆説的に認識することができて良かった。騒音体感については、耳栓の違い（遮音効果の違いや、聞こえづらさによる意思疎通の難しさなど）も体験できると良かった。
- ・ 電気危険体感の実習では、日常生活での電気使用の注意点などが学習できてとても参考になりましたが、「静電気とヘルスケア」の内容に関しては、どこまでエビデンスがあるのか疑問に思いました。
- ・ 高所危険体験は意外に低い高さでも怪我につながるものが良くわかり、今後の自分の作業時に気を付けようと思った。
- ・ 酸欠の説明で、酸素濃度計が作動する様子を確認できた。測定室にある濃度計について「作動したらどうなるのか分からない」と説明してきたが、今後は、適切な説明ができそうです。
- ・ やはり知識で知っているだけのことと実際に体験してみたことでは経験の差が歴然だと感じた。小規模でも実際の爆発、落下、感電などを見ると「こんな危ないことをするとあんな風になるかもしれない」と想像できる。それができるかできないかが現場で危険を防止する際や一時を争うときには結果に大きな差となると考える。なお、5の項目でチェックを入れたが、必須であったため入れたに過ぎず、実際には良くなかった項目などなかった。
- ・ 高所からのダミー人形落下やハンマーの落下は今まで体験したことがなかったので、今回受講で来てよかったと思う。特にハンマー落下に関しては緩衝剤が入っていないヘルメットがどれだけ危険かということが分かり、日ごろの点検を十分に行わなければならないと思った。よくなかった項目は特になかったのですが、チェックしないとエラーが出たので騒音体感に付けましたが、どれもとてもよかったです。
- ・ 研修時間が短く、全員が体験することができなかった項目もあった。
- ・ 爆発体感は臨場感が凄かった。
- ・ 電気危険体感はずっと目に見えない、抽象的にとらえていた電気の人体に対する性質を体感で学習できたので非常に良かったです。
- ・ 脚立作業は、農場の現状では二人で行うことはできないなどの制約がある。ただ、リスクを減らすことは小さいことからできると思うので、今後の作業を見直してみたい。
- ・ 本心から良くなかった体験項目なんてないのに、前問で強制的に選ばせられたことは大いに不満がある。仕方がないので、適当に一つ選んだが、統計処理上では、よくなかった体験項目は無しと答えていたことにしてくれるように強く望む。
- ・ 高所・騒音系コースであったが、化学・爆発系コースの内容も見たいと思った。
- ・ スパナと脚立は、当たり前のように使っていたが、正しく使えていなかったことに、自分自身驚いた。これぐらいは大丈夫だろうで使用していた部分が危険であることも分かってよかった。よく使う工具でもあり、普段あまり危険を感じないため、今回の研修で危険体験できたことは大変よかった。
- ・ 安全帯の装着位置とフックの引掛ける位置の違いによって、身体への負担が多きく変わることは為になった。

- ・ 感電の体験では、通常の状態と濡れた状態でのショックの違いが如実で、これが高電流だったらと思うと、日頃の確認はとても重要だと感じた。



高所危険体験 植木鉢の上(左)にヘルメットを重ね(中央)この上にハンマーが落下(右)すると、こなごなになっている

7、今後取り上げてほしい研修やテーマおよび見学先などありましたらご記入ください

- ・ 職場における地震、火事などの自然災害時の安全対策
- ・ ヒューマンスキル研修をまたよろしくお願いします。
- ・ 今回のグラインダー危険体験のように、普段使用している工具について、取り扱い方の研修があれば受けてみたいと思う。
- ・ 京都大学総合博物館、京都大学霊長類研究所を見学してみたいです。
- ・ 重機の運転時の危険を体験できる施設があれば研修を行って頂きたい。
- ・ 衛生管理や汚水・汚染水処理などのテーマ、食肉作業場（屠殺場）・給水から浄水までの浄水システムを見学したいです。
- ・ 種類は多いが技術士向けの講習会。
- ・ 部局単位では予算確保が困難なため、今後も同じ研修を続けてほしいです。
- ・ 今回の研修は非常に面白くためになった。
- ・ 今回は幅広い項目をさらっと半日で終わらせた感じであったが、個々の項目を掘り下げて1日くらい使って研修してもらったらもっとよく理解できると感じる。
- ・ 以前にありました、水族館のバックヤード見学等、再度行ってもらえたら嬉しいです。
- ・ こういった安全教育は定期的に参加することが望ましいと感じたので、これからも開催をお願いしたい。
- ・ 高度な技術や専門性の高い研究等の研修などもよいと思いますが、そのような研修は専門群の研修等で実施し、総合技術部研修では参加する技術職員の専門性も様々なので、今回のようなどんな分野の方でも共通して当てはまるようなテーマの研修が良いと思います。



高所危険体験 脚立作業の危険性

片手昇降

- ・ 今回のような研修は、座学で学ぶだけでなく、実際に体験できるからこそ今後に活かすことが出来ると思うので、今後も体験型研修を実施してほしい。見学先：防災体験学習施設 そなエリア東京
- ・ 今後とも体験型安全教育研修を継続して欲しい。
- ・ 人との付き合い方、上司部下との上手な接し方の講習会 今回のような体験型の研修会。
- ・ 今回の研修は、安全意識の再認識のために、少し忘れかかったところに再度受講できるとよいと思う。
- ・ 企業の工場を見学してみたい。どのような機械が使用されているのか、興味がある。
- ・ 重機や車両が走行可能なコンクリートのスロープ、塀、三和土等の作り方。
- ・ 今回のような、他の体験型安全講習。



保護具着用体験 高温耐性手袋



玉掛け危険体験

8、今回の研修でお気づきのことがありましたらご記入ください

- ・ 普段の利用者数が少ないためか、現地への電車の本数がかなり少なかった。
- ・ 今回の研修においては、出張も可能との事だった。
- ・ 茨城での開催で遠方であり、交通の便もあまり良く無く、毎年行うのであれば本学まで出張頂いた方が合理的なのではと感じた。
- ・ 今回の研修会場は茨城県であったが、安全体感講習であればもう少し近場（関西圏）でも受講できたと思う。
- ・ 電車の時間を考慮したスケジュール設定が必要。
- ・ 実際に体感することによって学ぶことの重要性をすごく感じた研修でした。
- ・ 今回のような体験型の研修は技術職員にとって学ぶべきことをたくさん知ることができる貴重な研修であると感じました。今回研修に行った我々が周囲に伝えていくことももちろん大切なことだと思いますが、なるべく多くの職員が研修を受けて、安全第一の雰囲気を組織で作っていくことも重要であると思いました。
- ・ 普段の業務の中に、様々な危険が潜んでいることを体験することができた。また、危険だと頭で理解しているつもりの作業が、どれほど重大な影響を与えるかについては、実際に事故を起こさない以外には、このような機会がなければ経験できないので、非常に有意義な研修であった。
- ・ 研修場所はあまり遠くない方が研修中の集中力が持つ、と気付きました。
- ・ 現地の公共機関の本数が少なかったので、移動時間をもう少し考慮したスケジュールにしてほしかった。
- ・ 参加者の名札がなく、自己紹介の時間もなかったので、一緒に研修を受けた人がどこの誰か分からなかった。
- ・ 「良くなかった項目」は特にありませんでしたが、選択しないと回答を送信できなかったのも、「業務との関連が薄そうなもの」として記入しました。
- ・ 集合時刻などの設定をもっと練られたらよいと思う。
- ・ 久々の技術職員研修でした。移動時間が長く、大変でしたがためになるよい研修で受講できてよかった

と思いました。

- ・ せっかく遠方の研修施設に伺ったので、もっと研修時間を取り、他の様々な安全教育を受講したかった。
- ・ 半日の研修は移動時間を考えるともったいないと感じた。
- ・ 電車の本数が少なかったので集合時間までの時間が余ったことと、帰りの電車の時刻までかなり待つことになった。研修委員の方は大変でしょうが、事前に確認しておいてほしいと思いました。
- ・ 金銭的な問題はありますが、もう少し長く（1日で）研修してくれたらよかったです。割合ざっくりとした感じで進んでいった感があります。
- ・ 世話人の方の苦労は重々承知しているのだが、もし良かったら帰りの駅での待ち時間がもう少し短くなると嬉しかった。
- ・ 内容について特に不満はありません。時間的に難しかったと思いますが、せっかくの総合技術研修のため、他部局の方と意見交換や交流する時間があつたらよかったですと感じました。よい研修を企画いただきありがとうございます。
- ・ 体験型の研修ということで、どの項目も印象に残った。今後も、体験型の研修を開催していただければ幸いです。
- ・ 最寄り駅から研修場所に歩いて行く道すがらから、案内員の方からポケットから手を出し歩いてくださいと注意があつた。研修場所は、工場内の一角に存在しているため、普段から安全教育が徹底されているのだとその時点で感じた。到着と同時に作業着に着替え簡単なガイダンスの後、保護具や服装の点検を2人一組で行った。その後、高所危険作業について、不安定に設置した脚立に登って作業をしたり、片手に荷物を持った状態で昇降したりし、脚立の間違った使用がいかにも危険であるかを学んだ。次に、高所作業時に使用する安全帯の取り付け方や使用方法について解説を受け、取り付け方が不十分な場合と正しい場合の違いを、実際に吊るされて体験し、安全帯をつけた状態で室内に組まれた櫓の上に登り簡単な高所歩行と作業を体験した。さらに、ヘルメットの緩衝材がある場合とない場合の違いや人形を使って転落者をネットで受けた場合の衝撃を体感した。
- ・ 短い休憩を挟んで、玉掛け作業時に起こりうる危険や事故について解説を受けた。その後、騒音体感や電気危険について、耳栓の効果や感電を体験しながら解説を受けた。最後にスパナの正しい使用法とディスクグラインダーの危険について学び研修は終了した。

